

4

民間学童の拡大や保育園の増築

こども課

放課後子ども環境整備事業補助金 1,260万円

瑞鳳小学校区にて民間学童クラブを新設予定！ 定員 40名程度。

民間学童クラブを運営する事業者をこれから募集。数社から問い合わせがあるとのこと。令和7年4月からの事業開始をめざす。

こども未来課

本地ヶ原保育園増築工事基本設計委託 400万円

増築のための基本設計に着手。令和8年度に工事予定。

本地ヶ原保育園には下記の3つの課題があり、少しでも克服できるよう増築を図る。

1. 保育園の面積の問題でサポート保育※が実施できない
2. 更衣室がない等、職員のためのスペースがない
3. 給食調理室が狭く給食が多く作れない

※サポート保育：心身に障がいや有する児童や
発育や発達に遅れがあり個別の支援を要する児童の保育

◎不法投棄が誘発されないよう迅速に撤去していただく



撤去前



撤去後

稲葉町内の市道でドラム缶の不法投棄。対処にお困りの市民の方より相談。持ち主が不明なことを確認の上、市の担当課に撤去頂いた。

迅速に対応いただき、不法投棄の誘発を抑え、地域住民の目があることを知らしめる効果があったと考えます。



◎様々な行事にお招きいただき、市民の皆様とお話をさせて頂きました！



尾張旭市議会議員 市原誠二

いっち通信



HPにアクセス

No.25 2024.4

私たちの暮らしを
私たちみなで守る

発行: いちはら誠二を育てる会

事務所: 晴丘町東 111
TEL: 0561-53-1448



3月議会で提案を行う市原



通算5頭目の介助犬パビーが我が家にやってきました

お変わりないでしょうか？
桜の季節は、今年もあつと
いうまででしたね。
春の議会は、新市長が初め
て組み立てた予算審議がメイ
ン。限られた資源の振り分け
に想いが込められています。
私たちの暮らしの基盤が引
き続き役割を果たせるよう微
力ながら職責を果たします。
ご支援ください。

春の市議会 活動報告

提案①: 小中学校における給食当番エプロン(白衣)の供用を廃止するべき!

回答: 本来の目的が確保できれば、各家庭の都合に応じた対応も考えられる



日曜の夜に「こっ、これ・・・」と
子供から渡された日には...

Q 市原
給食当番のエプロン
共用を廃し、私物等に
することで、保護者や
児童生徒、教員の負担
軽減など、各種課題に
対応できる。如何か？

A 教育部長
本来の目的である
「衛生的な配慮」や「衣
服の汚れ防止」などが
確保できれば、児童生
徒の状況や各家庭の都
合に応じた対応も考え
られる。但し、保護者
の意見を聞くなど、詳
細な内容の調整も必要
になる。

提案②: 災害時の断水に備え集会所等へ「手押し井戸」を設置するべき!

回答: 瑞鳳地区のような既存井戸の活用については有効と認識しており調査・研究したい



近隣のポケットパーク
にある手押し井戸

Q 市原
当市には配水車
が1台のみ。
集会所などに井
戸を設置し、生活
用水確保の一助に
しては如何か？

A 災害対策監
各地域の集会所
等に、新たな井戸
の設置をするとい
った考えはない
が、瑞鳳地区で実
施の既存の井戸活
用は、有効である
と認識しており調
査・研究したい。

提案③: 「南海トラフ地震臨時情報」に備えた対応を想定すべき

回答: 臨時情報の啓発と図上訓練に取り入れたい



Q 市原
「臨時情報」発出
時の本市の対応に
ついて伺う。

A 災害対策監
非常配備体制を
執り、体制強化を図
るとともに、市民に
対し、迅速かつ的確
に情報伝達を行う。

Q 市原
臨時情報を想定
した地域での訓練
の実施も重要で
は？

A 災害対策監
地域から訓練内
容について相談が
あった際に、「南海
トラフ地震臨時情
報への対応」につい
ても、提案したいと
考えている。

予算案・条例改正などを3月議会で審議
一般会計予算 約284億円の使い道を抜粋し解説します



市民の最後の砦である自治体としての役割を果たすため、「決定プロセスや情報の開示、論理的な対応が重要である」との考えに基づき、私は職責を果たします。

1

暮らしの安心

市民活動課

自転車乗用ヘルメット着用促進事業費補助金 70万円

新たに全年齢を対象にヘルメット購入補助を行う。

上限2,000円。

これまでは、7～18歳以下、65歳以上が対象だった。

購入したヘルメットを自転車通学（一部の旭中学生徒）に使用することも可能とのこと。

なお、県内で同様の全年齢補助は16市町のみ。

青少年相談事業関連 公用車管理経費 約54万円

少年センターが街頭相談で公用車を用い月曜～土曜日に市内を巡回。

1日に約42キロ、月で約1000キロ走行し青少年へ声かけ。声かけ件数：昨年度144件、今年度112件（3/10現在）。

少年センターの地道な声掛け活動に敬意を表します。物事を未然に防いでいただいています。最近の傾向として児童生徒の遅刻、早退、別室登校児童生徒への声かけが増えている。小中学校からの不審者情報に基づく点検も実施している点のことです。



地域防犯事業

防犯灯設置・器具取替え補助金 100万円

昨年比で大幅減額の理由は、

町内会のご尽力で防犯灯LED化比率が99%に達したため。（昨年度、総額2,400万円、3万円/灯のLED化支援を実施）

長寿課

緊急通報装置設置運用委託料 1,500万円

ひとり暮らし高齢者に「非常通報装置・非常ペンダント・生活活動感知器」を貸与。需要が高く昨年比大幅増額。利用者負担340円/月（3,465円/月の差額は市が助成）

2

学校教育

教育政策課

小学校ロッカー等改修事業 2,250万円

持ち帰り荷物を減らすためにロッカーを大型化。

熱中症対策の一環で、登下校時の荷物負担を軽減する。

中学校体育館等空調設備整備工事設計委託料 520万円

全中学校（旭、東、西中）の体育館や柔剣道場の空調設備の整備に着手。

災害時における避難所としての防災機能の強化、夏季の熱中症対策を行うため。令和7年度に工事を実施予定。

どの中学校から工事を開始するかは、部活動などで活用頻度の高い体育館から実施予定とのこと。

なお、断熱のための大規模な工事は考えていないが、可能な限りの整備は考えるとのこと。

中学生海外研修事業負担金 720万円

令和2年度から中止としていたオーストラリアでの研修事業を再開。

今年8月実施予定。ビクトリア州の学校に体験入学しホームステイも体験。市立中学生徒12名の生徒が参加予定。

学校教育課

水泳授業支援業務委託料 2,800万円

現在2校（旭、本地原小）で実施の民間プールを活用した

小学校水泳授業を6校に拡大。

新たに、渋川、城山、白鳳、瑞鳳小学校で実施予定。

水泳指導は、専門知識のあるインストラクターが実施。

学校の先生はプールサイドなどで安全監視等を実施。

（学校のプールを使わないため、光熱水費は1,700万円減少する）

とても好評なプール授業。温水プールのため夏季に限定せず学校行事の間で実施が可能。なお、未実施の残り3校は、令和7年度実施に向け検討中。また、それぞれの小学校にあるプール施設の取り扱いは、今後検討することです。



3

健康・環境の向上等

健康課

带状疱疹ワクチン接種委託料 1,000万円

50歳以上の市民に対し1回につき最高1万円を助成。

接種予定者数としては800人を見込む。

保険医療課

国民健康保険税の増額激変緩和措置 1億2,000万円

一般会計から1億2,000万円の財政支援を実施。

加入世帯数が最も多い所得層で、5%以上の増額とならないよう配慮。

毎年同様の国保への支援は難しいと考えます。また、既に協会けんぽ、組合健保は収入の半分を国保と後期高齢者保健に支出し支援しています。持続可能な制度とするためには、医療費の支出削減など早急な合意形成の必要があります。



都市整備課

印場駅北側バリアフリー化等基本設計委託料 1,700万円

印場駅自由通路北側のバリアフリー化整備に着手。

同僚議員からの少しでも早く工事ができないかとの質問に対し、貯水池などの地下構造物など難工事が予想され一定の時間が必要とのこと。令和8年度整備工事予定。

南栄6号線整備工事 6,000万円

いよいよ今年度整備完了予定。歩行者や自転車の安全確保が図られ、車両の相互通行も可能となり市南部の道路ネットワークが充実する。

産業課

尾張旭まちづくり応援寄附金 4,000万円

昨年に比べ2,000万円の増額。

ふるさと納税寄附金の拡大を見込む。

大幅増額の理由は、新たに開拓・設定した返礼品が好評。